

N A L C	令和3年3月10日発行 VOL16 第十四号 発行責任者 橋本伊三男	ニッポン・アクティブライフクラブ ナルク 尼崎 (ナルク119) 事務局 尼崎市富松町1-14-19 TEL/FAX 06-6422-8835
---------	--	---

ナルク会員の皆様お変わりございませんか？

この一年間を振り返りますと、昨年4月にコロナ流行の第一波で緊急事態宣言が発令されて以降、夏場の第二波、11月下旬からの第三波の流行下での年末年始は、帰省を控えた人が多く、新幹線や高速道路がガラ空きの特異現象が現れた。それでもコロナの新規感染者の増加傾向が収まらず、政府は東京・千葉・埼玉・神奈川の首都圏4都県に緊急事態宣言（1月8日～2月7日）を発令。さらに1月13日には、栃木・愛知・岐阜・大阪・京都・兵庫・福岡を加えた11都府県に拡大して期間も3月7日までに延長した。その後の感染状況で栃木県は2月7日までとなった。

2月も下旬に入ると急激に気温が上昇、春を感じられるようになってきた。その中で、立て続けに良いニュースが飛び込んできた。大坂なおみ選手の全豪オープンテニスの優勝。東京オリンピック・パラリンピック組織委員会の会長に橋本聖子氏。五輪担当大臣に丸川珠代氏といずれも女性で新しい時代の到来を見る思いである。医療従事者4万人へのコロナワクチン接種も開始されたし、4月には65才以上の高齢者への接種も始まるらしい。2月23日に大阪・京都・兵庫の3府県の知事が、オンラインで西村大臣に緊急事態宣言の解除を要請した。政府は26日にも対策会議を開き、愛知・岐阜・福岡を加えた6府県を28日にも解除し、首都圏の4都県は予定期間の3月7日に解除する予定という。

3月・4月は何かと行事が多く、人の集まる機会が増えるため、新規感染が心配されるが、我々がこの1年間の経験（三密を避け、マスク着用、手洗い励行、不要不急の外出を控えるなどのコロナとの戦い）が、必ず生きてくると思います。緊急事態宣言が解除されても、気を緩めることなくこれまで通りの日常を継続し、1日も早いコロナの収束を目指しましょう。

会員の近況を掲載します

【近況報告】副代表 土肥嘉夫

皆さん、不自由な毎日を送っておられることとお察しします。

グリーンアルス・サンフォートの施設の活動は中止、歌の会や麻雀（ヘルプ役で時たま参加）も、中断と全く困ったものです。11月号にも書きましたが、こういう時こそチャンスとばかり本を読み続けており、最近読んだ中では原宏一の「ヤッサンシリーズ」や南杏子の本が印象的でした。特に後者は作家自身が医者なので実体験をもとに医療・介護の目での描写がなかなかユニークでした。代表作は「ディアベシヤント」「いのちの停車場」などです。

在宅の多い中でせめての楽しみはZoomでして、毎週遠くにいる娘二人と、妻と娘の助けを借りながら食事や対話をしています。決して残り多くはない年月の中で無為な日々を送るのは残念ですが、じっと我慢するのみで早期の回復を祈ります。

【コロナ禍の中での1年】島袋勝美・つぎ子

コロナ禍の中で、胸に疾患のある方、不要不急の方の外出は控えて下さいとの通達があり、外出するのは病院、食料品購入のみである。20年以上も続いている音楽友達との話す楽しみ、歌う楽しみ、観る楽しみも休止、

本当に淋しい今日この頃である。しかし良いこともある。我が家4人皆元気、24時間一緒に居るのでよく話す。病気のこと、健康のこと、は元より地球環境問題、世界史、日本史、政治、経済、宗教、はたまた我が家の将来は等、時間は十分にあるので、過去にないぐらいよく話す。コロナ禍での良いところである。ワクチンが行き亘り、免疫力をつけ皆と又歌える日がくることを楽しみに日々新たな気持ちで毎日を送っている今日この頃でもあります。

【ナルクに入会して】 蔭山昭子

初めまして、2019年6月に入会させてもらって「朝日ビール工場見学」「堺古墳群見学」「新年会」などに参加させて戴きました。「いきいき体操」「麻雀」と楽しく遊ぶことを教えてもらいました。ボランティア活動に誘ってもらい張り切っていたのに、世界中にはびこっているコロナの為に、何も出来なくなってしまいました。今は窓を開け、マスクをして間隔をとってする「いきいき体操」に参加することだけ、せめて週1回だけでもと頑張っています。立春も過ぎ、まだまだ寒い日が続いていますが、徐々に春らしくなってきました。家に引きこもってばかりいないで、少し家の周囲を歩いてみませんか、小さな発見がありますよ。木々の蕾も膨らんで、道端の草もかわいい芽を出しています。もうすぐ春です。お互い身体を鍛えて、コロナに負けず日々を元気に過ごしましょう。皆さんにお会い出来る日を楽しみにしています。

【ナルク尼崎の会員となって】 是石 一

“新型コロナ感染の収束を一日も早く”と待ち望まれる日々ですが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

平成7年1月17日、忘れもしない阪神淡路大震災が起り、その年の10月に西宮・尼崎拠点が設立されました。その後、ナルクは1都市1拠点、全国130拠点、3万人を目標に掲げ組織を拡大していきました。それに呼応する感じで平成18年10月、西宮・尼崎もそれぞれ分離・独立しました。

西宮の会員も順調に伸び、最盛期は120名を超えましたが、その後、会員の高齢化とともに活動できる会員も少なくなり、くわえて入会者も減少の一途をたどり、時間預託活動も奉仕活動も中断せざるを得なくなりました。3～4年前から運営委員会の中でも拠点解散の声が上がり、本部との折衝を繰り返してきました。そして昨年の総会で解散を決議し、会員の今後も決定しました。ナルク尼崎には11名を受け入れていただくことになりました。

西宮・尼崎拠点時代を振り返っていると数々の思い出がよみがえってきます。特養にしのみや園や喜楽苑での様々なボランティア活動、武庫川河川敷の清掃ボランティア、門松づくりや餅つき、嵐山・嵯峨野めぐりのハイキング、大飯原子力発電所見学、料理教室等々、楽しいことがいっぱいでした。

この度、ナルク尼崎の仲間に入れていただくことになり、皆さんとともにまた活動できることを大変よろこんでおります。どうぞ宜しくお願いいたします。

原稿募集 事務局長の俳句です

菫椿 落ちて夕日の 池の淵

啓蟄や 土の香りも 知らぬ子等

草ぼうぼう 学級花壇 下前ゆる

川田治彦

編集後記 私は現在「ナルク兵庫福祉調査センター代表」を兼務していますが、ナルク本部の中央福祉調査センター事務局から1月下旬に、全国会議を開きたいが、コロナのため集まる事が出来ないの、Zoom会議を開きたい、との連絡を受けた。慌ててカメラの購入に走り、近くに住む娘に来てもらい特訓を受け、なんとか準備を整えることが出来、1月27日に、北海道・栃木・神奈川・滋賀・大阪・兵庫の6調査センターと本部事務局が出席のZoom会議を無事終えることが出来た。オンライン会議とかは、他人事と思っていたがそうもいかなくなって来たなど、つくづく感じる今日この頃である。 橋本伊三男